

第19章 おわりに ～防災・減災・復旧・復興計画及びマニュアル等の作成に向けて～

前章までの検証結果をもとに、下記の基本目標を定め、防災・減災・復旧・復興計画及びマニュアル等の作成に向けて、尽力していく。

基本目標1 災害に備えた自主防災・減災体制の整備

- 計画1 豪雨災害発生時に備えた常時点検事項の再設定
- 計画2 豪雨災害発生時の各種判断基準等の設定
- 計画3 豪雨災害発生時の防災・減災体制（初動体制）の構築
- 計画4 豪雨災害発生時の避難体制の構築

基本目標2 災害に強い寺院の形成

- 計画1 水害を想定した寺院屋体の構造の改修
- 計画2 長期的な修繕計画の策定
- 計画3 建設業者との災害協定の締結

基本目標3 災害からの迅速な復旧体制の確立

- 計画1 被災状況の把握と記録
- 計画2 寺宝・文化財等への対応
- 計画3 境内清掃の方法
- 計画4 被災物品の仕分け・洗浄・仮置きの方法
- 計画5 室内清掃の方法
- 計画6 災害時の支援・応援・ボランティア等やその受援体制の構築
- 計画7 復旧作業における専門業者とボランティアの作業区分の設定

基本目標4 災害に強い治水・土砂災害防止環境の造成の要望

- 計画1 国・県・鮭川村が一体となった抜本的な解決策の要望
- 計画2 鮭川堤防の更なる嵩上げの要望
- 計画3 弥吉沢擁壁の更なる嵩上げの要望
- 計画4 庭月堤と一体となった治水対策の要望
- 計画5 弥吉沢上流部の改修（護岸・土石流対策・砂防堰堤等）の要望
- 計画6 弥吉沢及び境内の排水設備常設の要望

基本目標5 被災状況・災害復旧の広報体制の構築と推進

- 計画1 HP・インターネット・SNS・チラシ等を活用した情報発信

基本目標6 庭月観音の価値の向上 ～何度でも訪れたい寺院～

- 計画1 伝統を踏襲した行事の継続

計画2 境内の環境整備の実施

計画3 現代社会の諸課題や時代に適合した活動・イベント等の実施

基本目標7 防災・災害対応・復旧・復興財源の確保

計画1 災害保険等の見直し・適正化

計画2 災害対応・復興基金の創設

計画3 災害復興寄附の依頼

計画4 クラウドファインディングの実施

～おわりに～

庭月観音としては、平成・令和の豪雨災害のような事態は、二度と来ないことを願うばかりです。

しかし、近年の気象状況を考慮すれば、今後も同規模またはそれ以上の異常気象が、周期的に発生することは容易に想像できます。

今回の検証結果をもとに、今後の水害対策の更なる向上を図るために、防災・減災・復旧・復興計画・マニュアル等を作成いたします。

そのうえで、庭月観音の水害の根本原因である鮭川・弥吉沢への抜本的な対策を、国・県・市町村に要望させていただきたいと考えております。

当山の教えと歴史を、未来へ末永く継承していくためには、ご信徒・地域・仏教関係者・政治家・行政等の沢山の方々からのご支援が必要です。皆様らのご理解・ご協力のほど、重ねてよろしくお願いします。

また、平成・令和の豪雨災害で、鮭川村・最上郡・山形県・秋田県の多くの方々が被災されました。自宅の倒壊や浸水、農地・旅館・出荷場等に多くの被害が発生しました。本当に悲しい限りです。お見舞い申し上げます。

一日も早い復興と、皆様のご健康を御祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。合掌

庭月山月蔵院 住職 庭崎 賢恵